

半切四分の一に書く(9)

締切り 九月二十五日(必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のこと、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×一七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕
虚舟蕩遠波
きょしゅうえんぱにただよう

〔大意〕 からの舟が遠くの波にゆれている。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て、表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×一七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できます。ただし出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位は発表はしません。

一般部規定課題

締切り 9月25日(必着)

準初段から六段まで

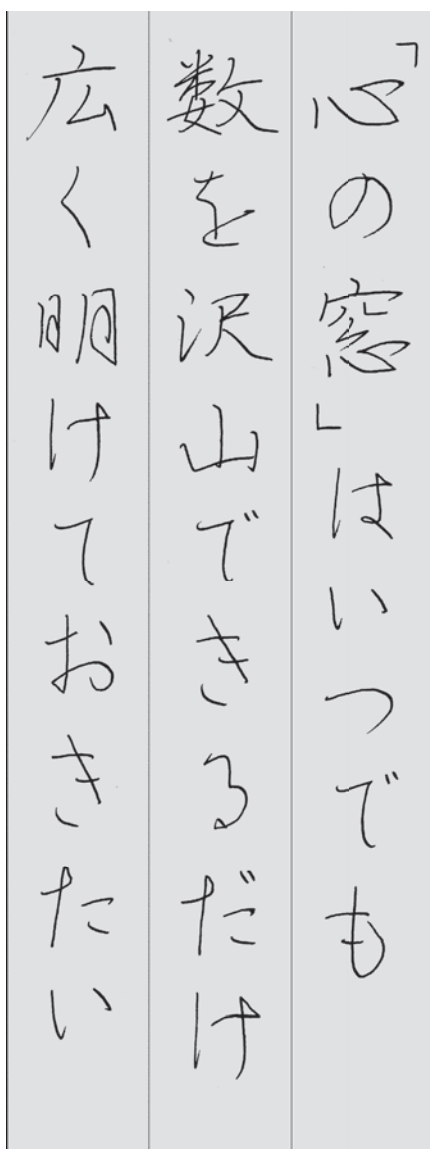
新入から1級まで

〔解説〕



◎今月は行書。私たちが日常もつともよく使う書体です。読みやすく、表情の変化も出しやすい書体です。

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

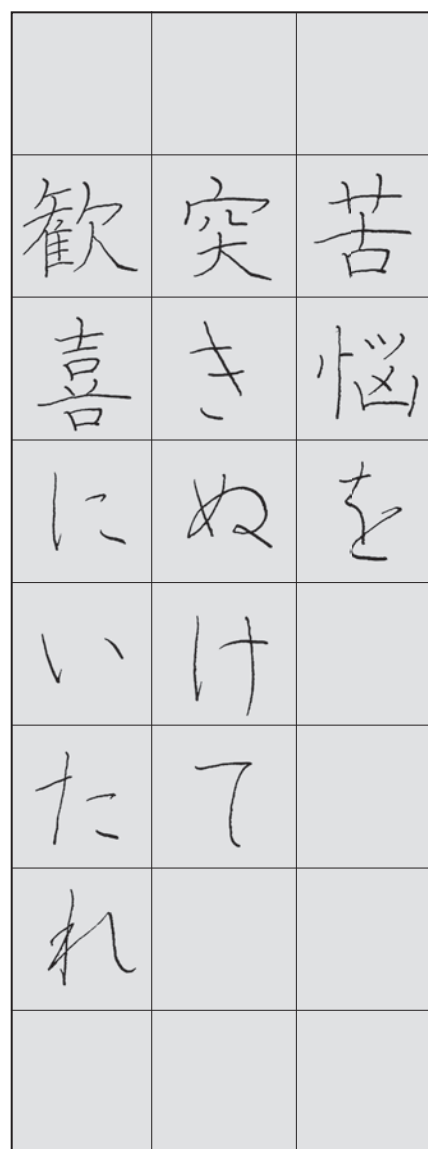


おか だ りゅう ほう
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼師範Ⅱ行書

▼教範・書範Ⅱ行草または草書

当たる確率が大い

磨けば磨くほど

山勘というのは

◆10月課題予告(楷書)

出された言葉でしょう。

科学と芸術への深い理解と愛着から生み

たいものです。

して、心の窓を出来るだけ多く持ち、そし

て広くあけて、自由に外界との交流を持ち

然、人と社会……あらゆるものとの接点と

窓は外界との接点です。人と人、人と自

物理学者・随筆家

寺田寅彦(一八六〇—一九五)

★心の窓…(書体Ⅱ行書)

イギリスの諺

何人をも待たない

時と潮汐は

◆10月課題予告(行書)

てに名曲『歓喜の歌』を生み出したのです。

死など多くの苦悩がありました。この間難聴、弟の

上の歳月が流れました。この間難聴、弟の

第九番』として世に出るまでには三十年以

す。早くから試みていましたが、『交響曲

ラーの『歓喜に寄す』に曲をつけたもので

ベートーヴェンの有名な「合唱」は、シ

ドイツの作曲家

ベートーヴェン(一七七〇—一八七

★苦悩を…(書体Ⅱ楷書)

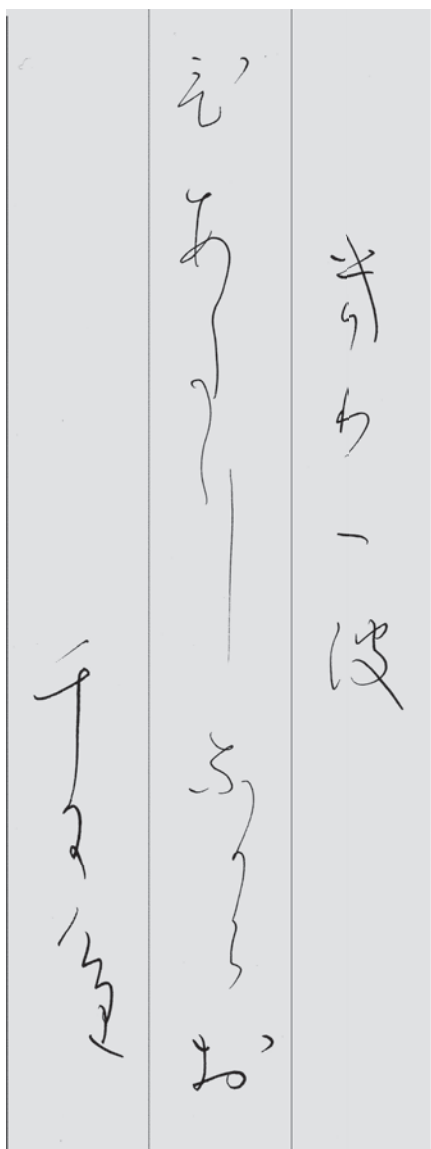
一般部かな課題

締切り 9月25日(必着)

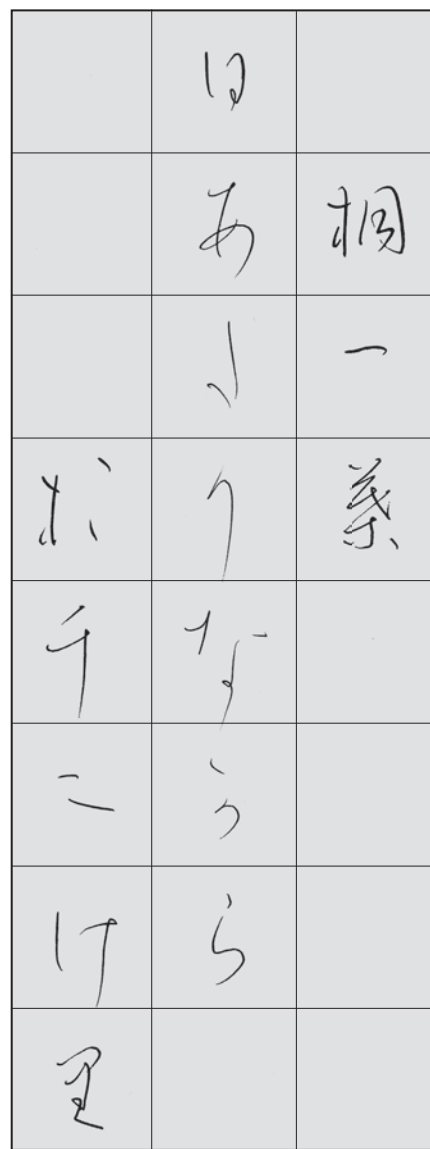
準初段から六段まで

新入から1級まで

幾利
桐一葉日当りながら落ちにけり



桐一葉日当りながら落ちにけり



おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

おお みや しゅん ちょう
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

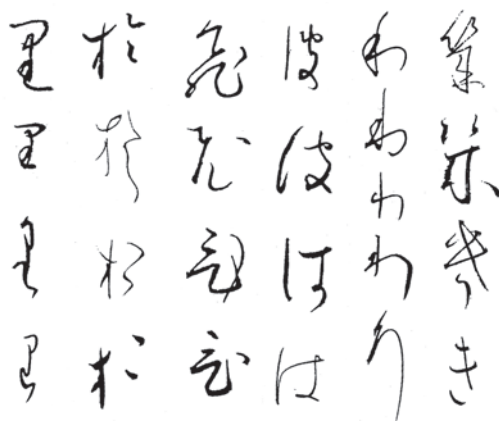
▷用紙=本会級位用紙

◆10月課題予告

草原や夜々に濃くなる天の川

(白田亜浪)

里り 於お 飛ひ 波は 利り 幾き



〔古筆参考〕

桐一葉日当りながら落ちにけり

(高浜虚子)

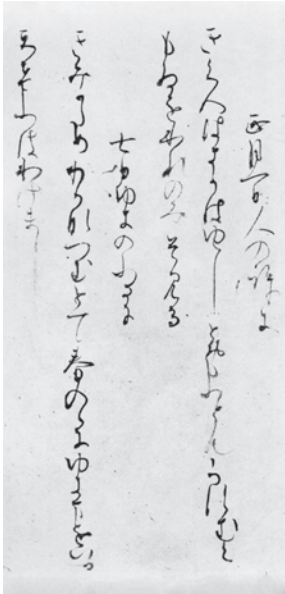
〔句意〕 幅広い大きな桐の一葉が、秋の強い日ざしを浴びながら、ゆっくりと、ひらひら舞いながら地上に落ちたことである。

一般部かな課題

師範・教範・書範

〔古筆参考〕

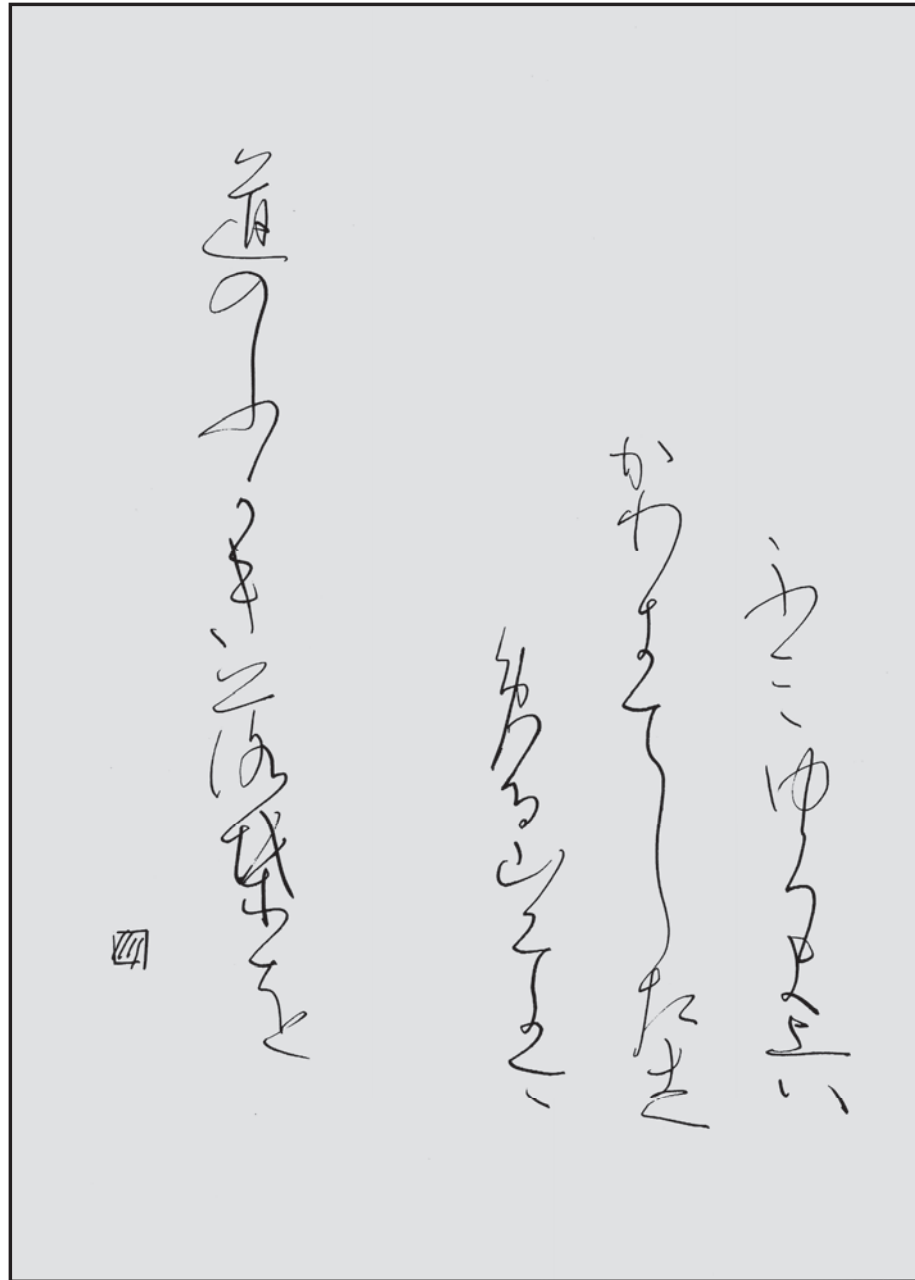
いずみしきぶぞくしゅうぎれ
和泉式部続集切



正月一日人の許に
きく人はきかばゆしとおもふとんかすむく
もるをわれのみぞみる
七日ゆきのふるに
きみがためわかなつむとて春のくにゆきまをいか
だけふはわけまし

締切り 九月二十五日（必着）

築瀬舟香書



踏みゆくよ上はかわきて下しめる
山そばみちの深き落葉を

〔歌意〕 樵が通る道に積もっている、上のほうは乾いていて下のほうは湿っている落葉を踏んで歩いて行くよ。

〔出典〕 名歌即訳 若山牧水
〔解説〕



- ①と②、③と④、⑤と⑥、それぞれ呼応。
- 行の密の動き大切。
- の方向と場所大切。
- ／ の方向大切。
- 大きな間大切。
- 運ペンのリズム、意連にも気をつけ

◆10月課題予告

ひそまりて久しく見ればとほ山の
ひなたの冬木風さわぐらし

実用文 のページ

はがき課題

おく だ み くも
奥 田 三 雲 書

締切り 9月25日(必着)

我が家の長男が高校三年生になり
本格的な受験態勢に突入しました。
大好きなナイター中継も我慢して
一心不乱に机に向かう姿を見ると
凛々しささえ覚えます。来春きつと
夢を掴んでくれる事でしょう。

我が家の長男が高校三年生になり
本格的な受験態勢に突入しました。
大好きなナイター中継も我慢して
一心不乱に机に向かう姿を見ると
凛々しささえ覚えます。来春きつと
夢を掴んでくれる事でしょう。

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

お 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

さんまは、その銀色の細長い体形
から「秋刀魚」の字をあてる。

愛媛県宇和島市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 9月25日(必着)

新入から1級まで(楷書)

須田一葉書

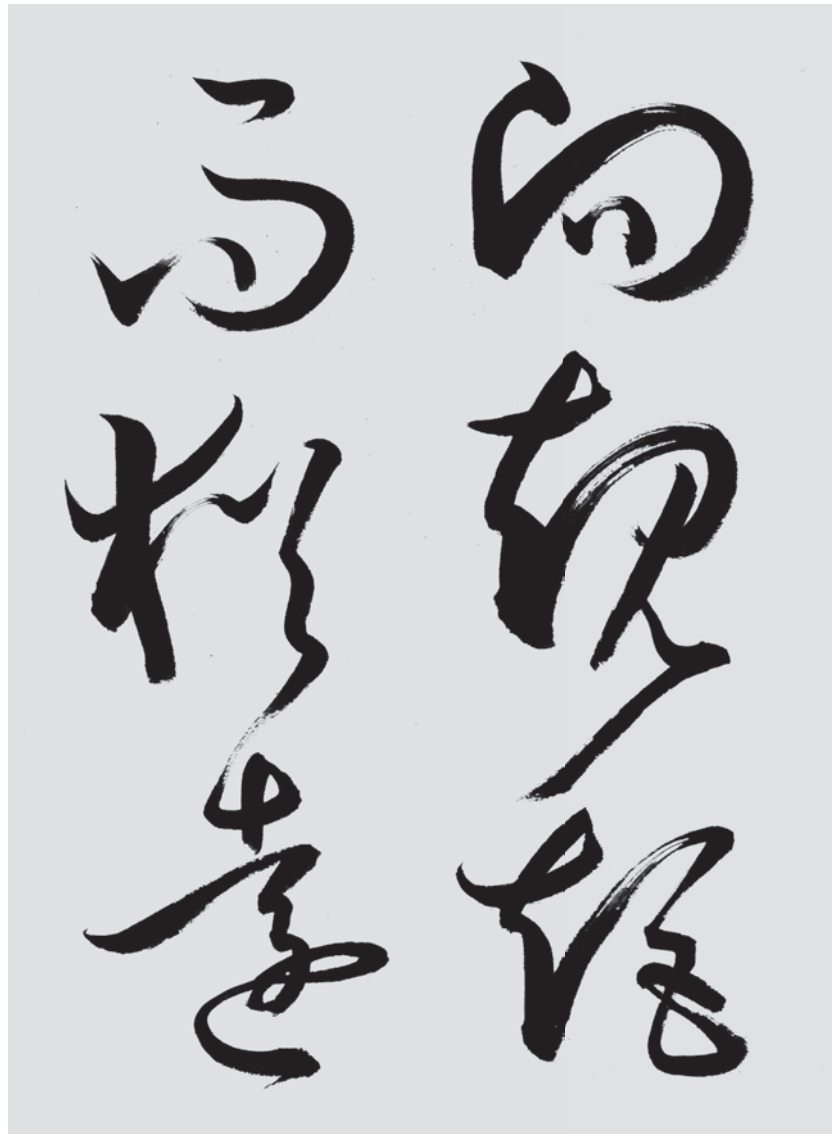


〔読み〕 さいう きくか てん 細雨菊花の天

〔大意〕 菊に九月の細かい雨が降り注いでいる。
(菊花の天は陰暦九月の空)

準初段から師範まで

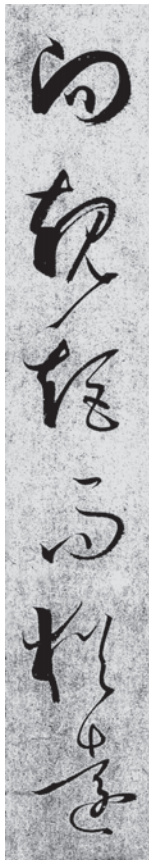
奥村暢之臨



〔出典〕 書譜(687) 〔筆者〕 孫過庭(649?~688?)

〔読み〕 きくく なお 規矩に向かいて猶遠く、

向
規
矩
而
猶
遠

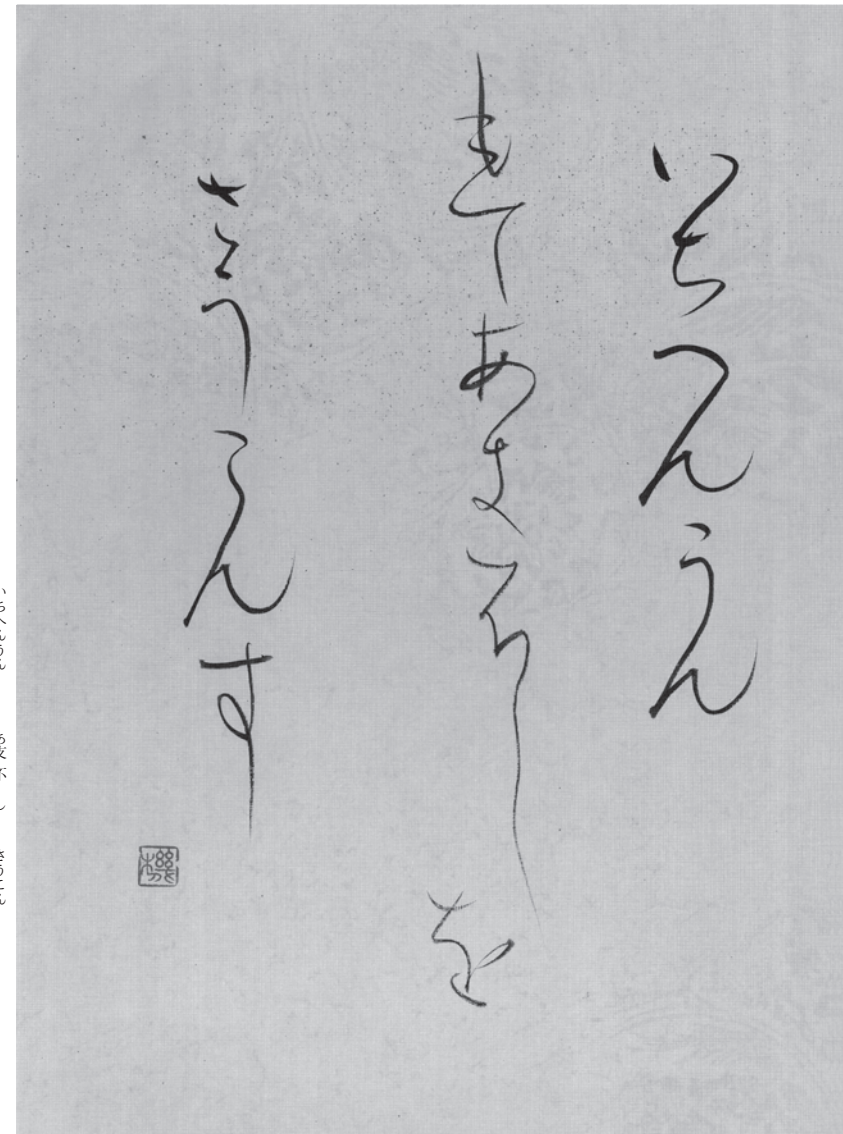


一般部毛筆かな課題

締切り 9月25日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書

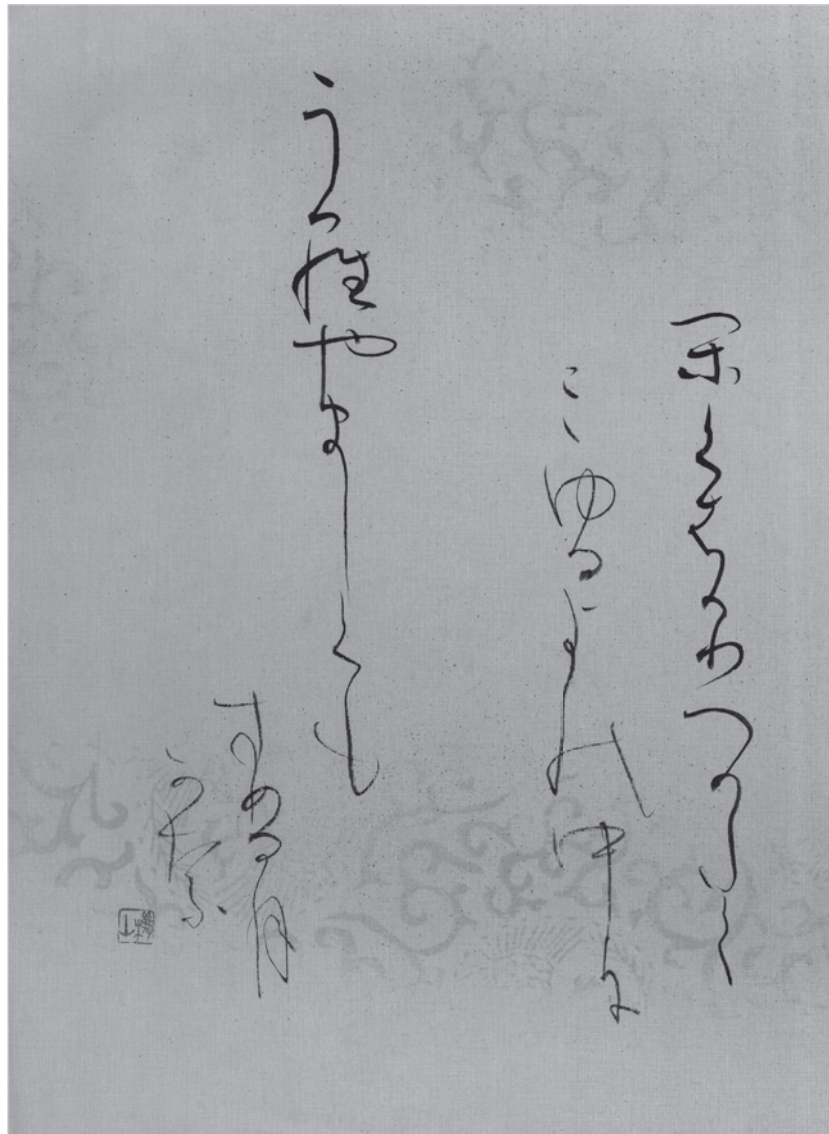


〔出典〕 富安風生

〔句意〕 一片の雲が富士にかかることで、秀抜な山岳の体をなした、というのである。さわやかな秋の、富士の秀麗な姿に敬意を表した句。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

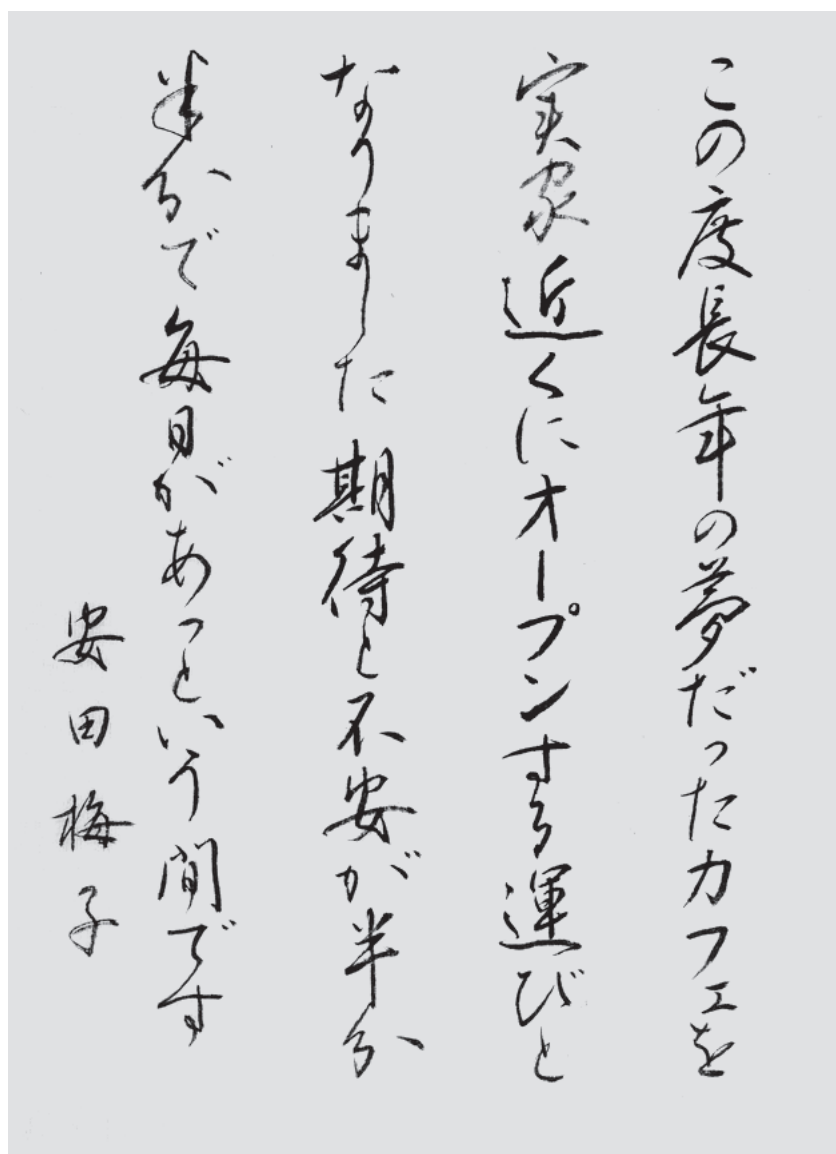


〔出典〕 藤原高光

〔歌意〕 これほどまでに過ぎにくく思われる世の中に、まことにうらやましくも、ひとり清く澄みわたっている月であるよ。

閑者可利可多三よ能尔
かくばかりへがたく見ゆる世の中に
うらやましくもすすめる月かな

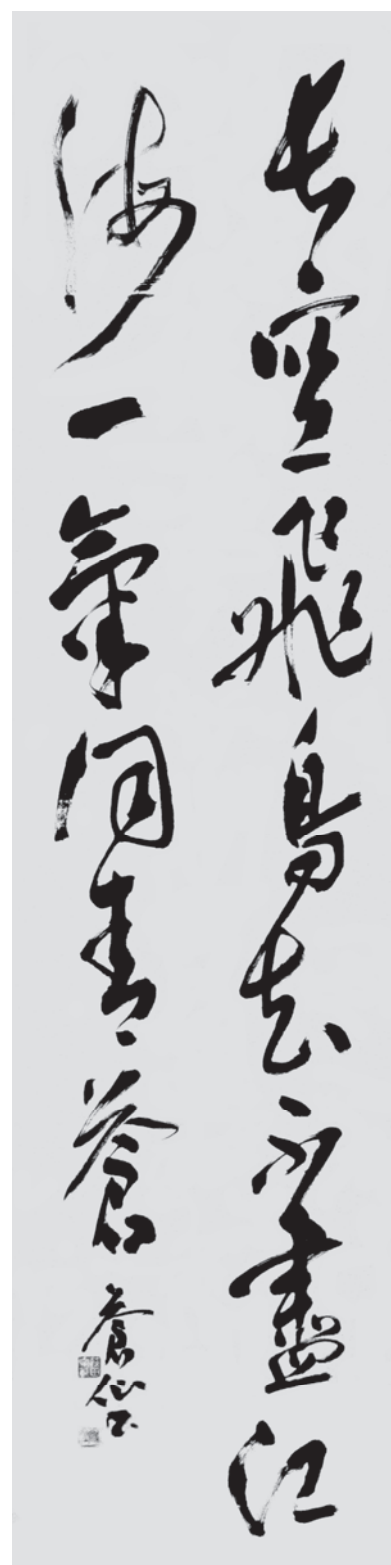
一般部毛筆細字課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 華 玲 田 樋

一般部毛筆条幅課題



締切り 九月二十五日 (必着) 半切 (136 cm × 35 cm)

萩 田 蒼 仙 書

〔条幅解説〕形は実によく整っているのに、墨量が少ないために作品に深み雅趣乏しく、軽い作になって選外に……残念です。墨量を入れ、滲み過ぎると見れば即座に拭きとることを知って欲しいのです。漢字も仮名も墨量を入れる、そして筆から少しづつ拭きとる……そんな技術も身につけて下さい。

ちようくうとりとびさりてつきず
長空飛鳥去不盡
こうかいきをいちにせいそうとなじ
江海一氣同青蒼
〔大意〕とこしえの
空に鳥は遙か彼方へ飛
んでゆき、大河とあい
まって青々と広がる。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

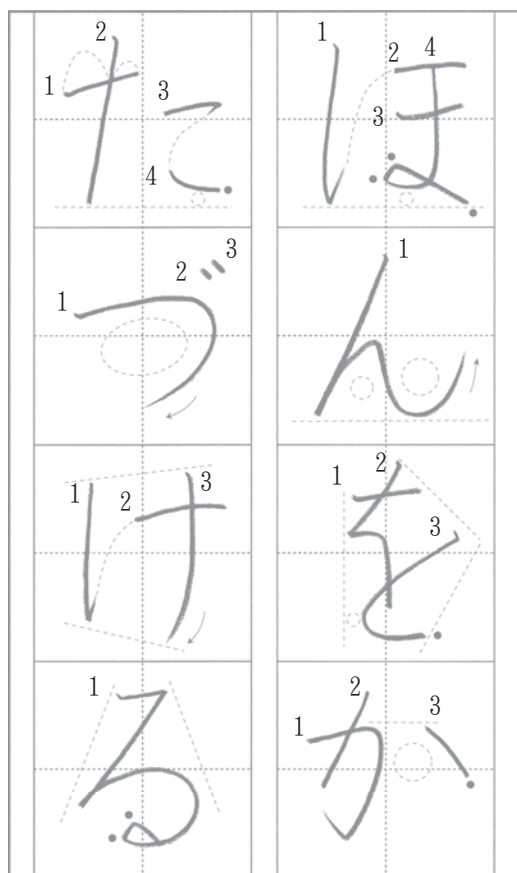
・この度長年の夢だったカフェを
実家近くにオープンする運びと
なりました期待と不安が半分
半分で毎日があったという間です
(自分の名前)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

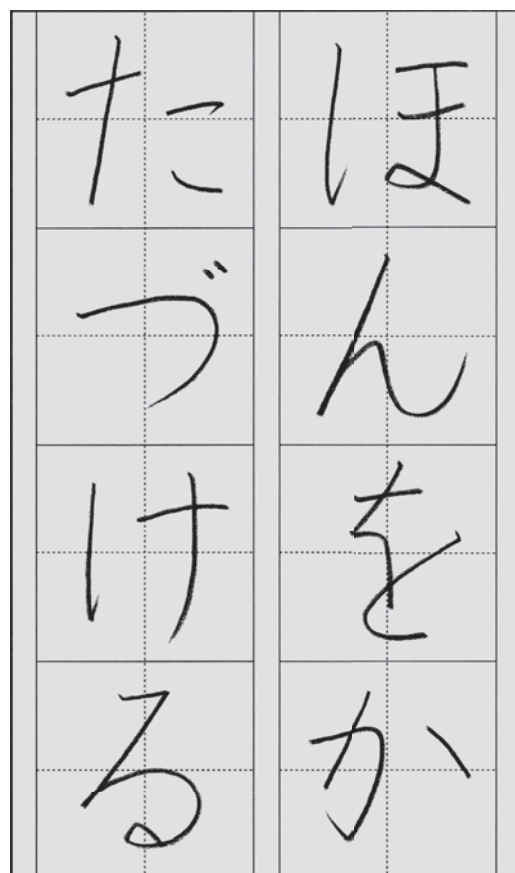
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

へようぐく自由(黒色にかざる)



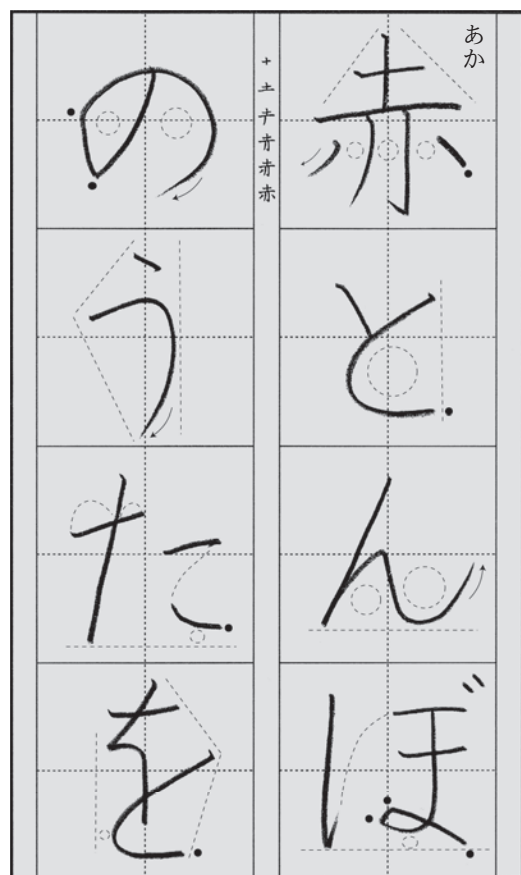
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)

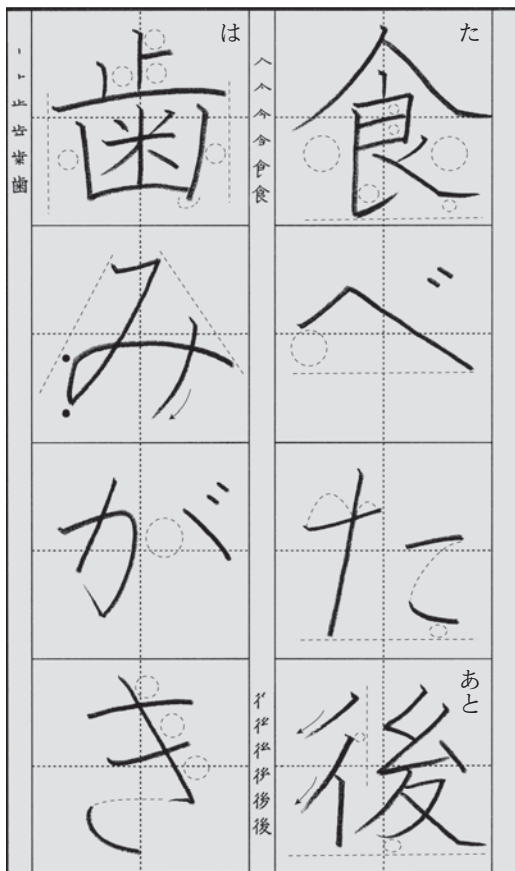


新入1級

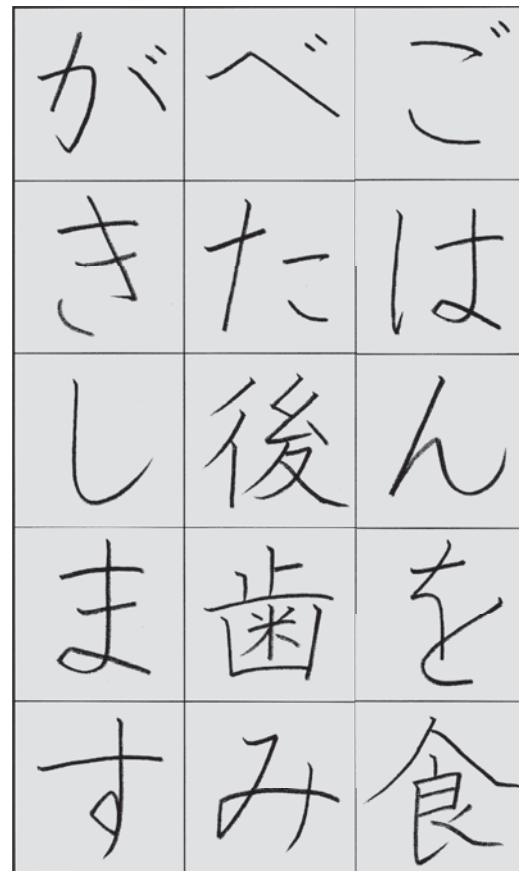


小二年

準初段以上



新入1級



小三年

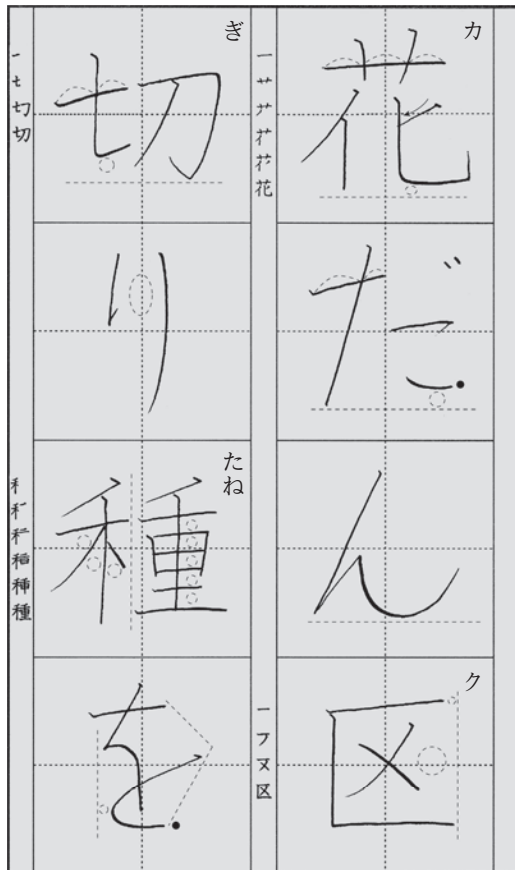
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

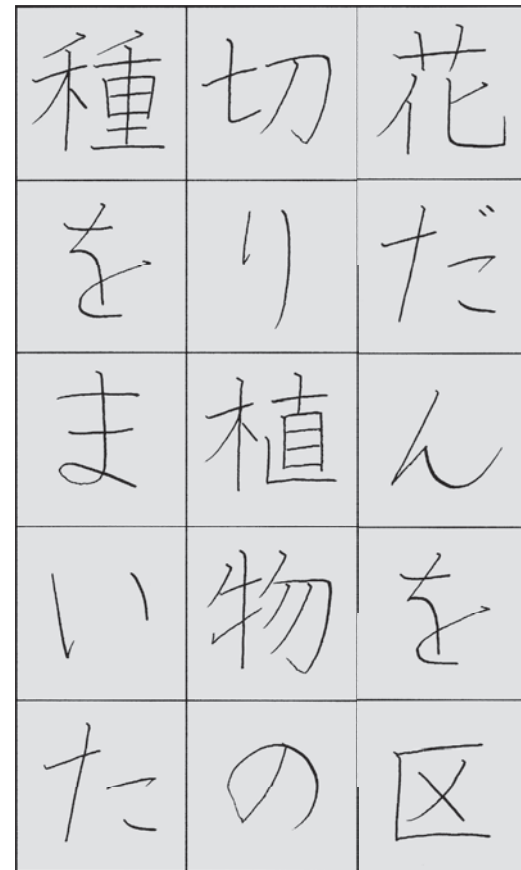
教育部硬筆課題

しめきり 9月25日(必着)

〈用具〉自由(黒色に限る)

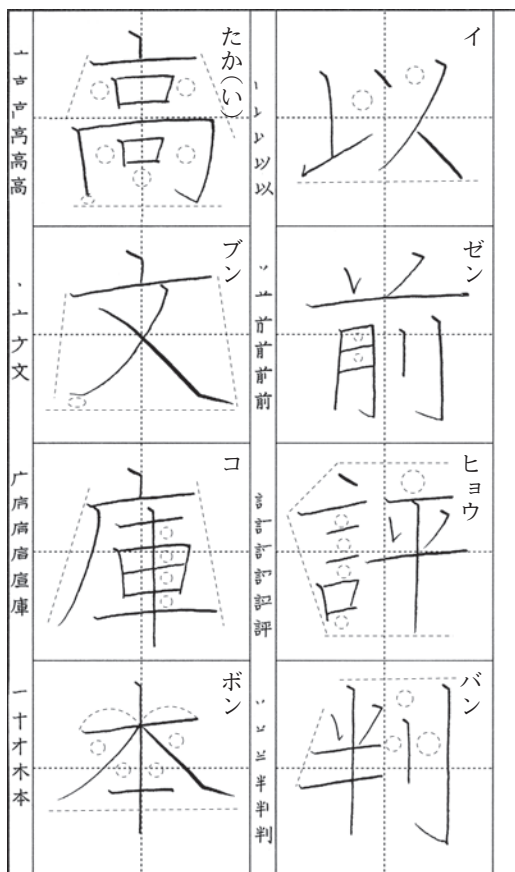


新入1級

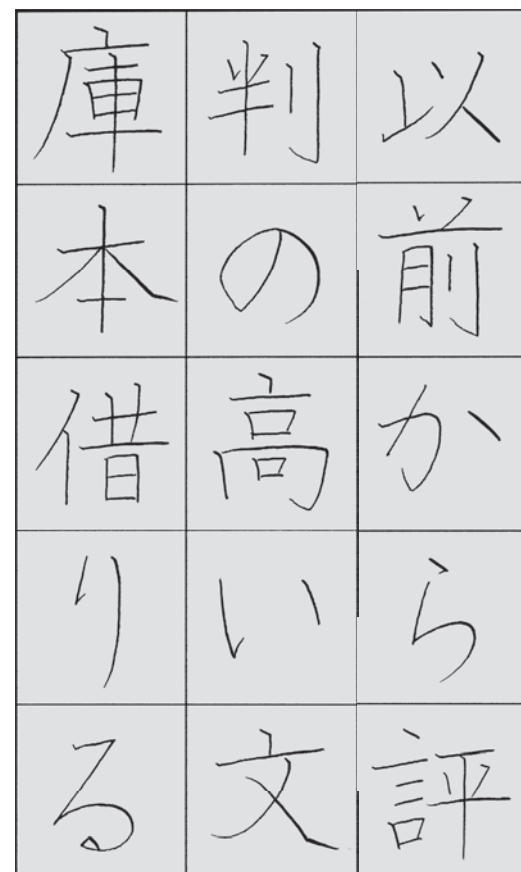


小四年

準初段以上



解説(よく見て習いましょう)



小五年

(全員)

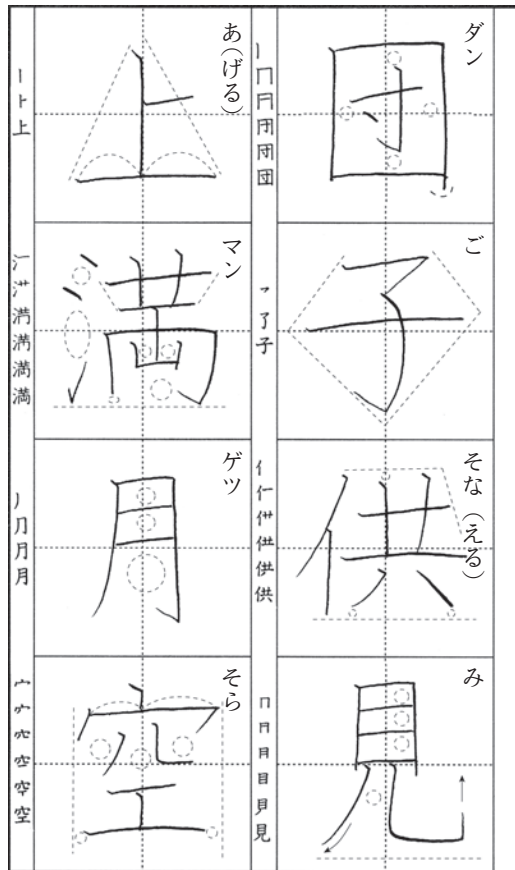
小四年以上
岡嶋桂川書

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

教育部硬筆課題

しめきり 9月25日(必着)

〈用具〉自由(黒色に限る)

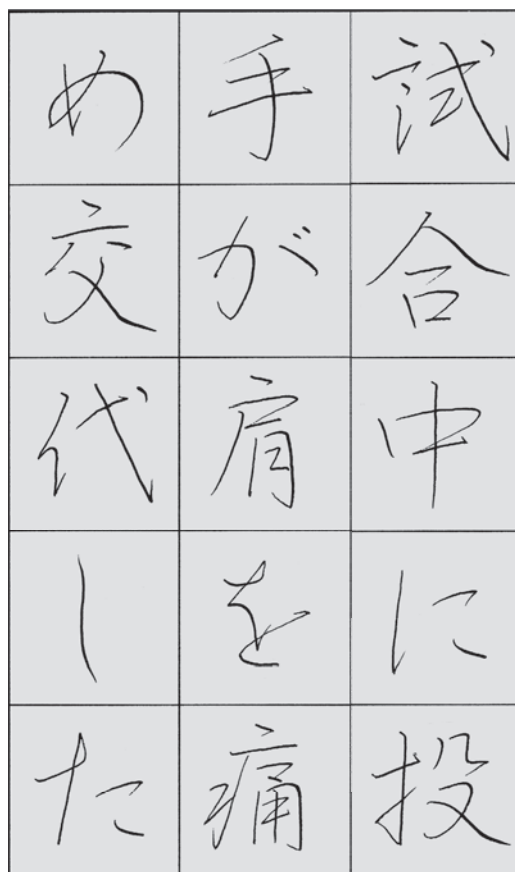


解説(よく見て習いましょう)



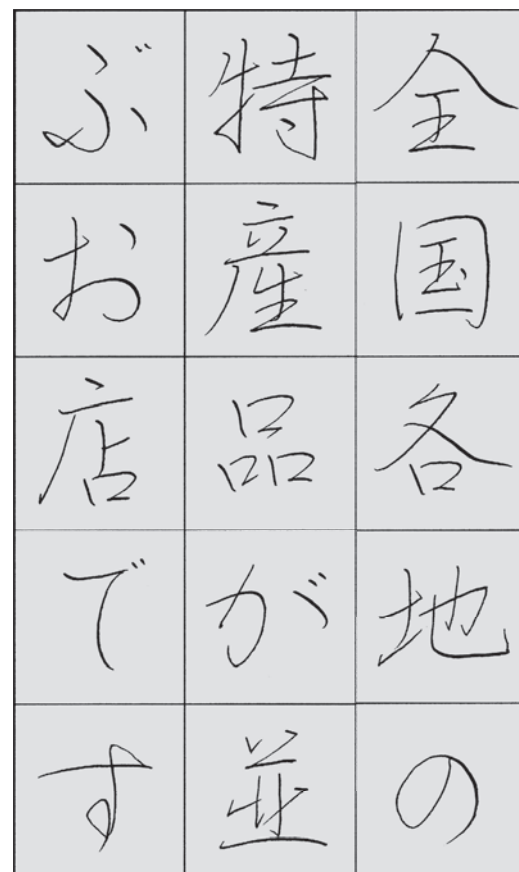
小六年

(全員)



中二・三年

(行書)



中一年

(行書)

▼小三年以下の課題

さわ 澤 よし 幸 かず 寿 書

秋	遠	ど	う	見
の	く	こ	ろ	上
空	に	ま	こ	げ
	広	で	雲	る
	がる	も	が	と



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 9月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

にし 西 わき 脇 せい 聖 えん 園 書

広	夕	真	巨	ゆ
い	日	っ	大	っ
海	の	赤	観	く
を	沈	な	覧	り
眺	む		車	と
め			か	回
た			ら	る



◎お手本はつけペン使用

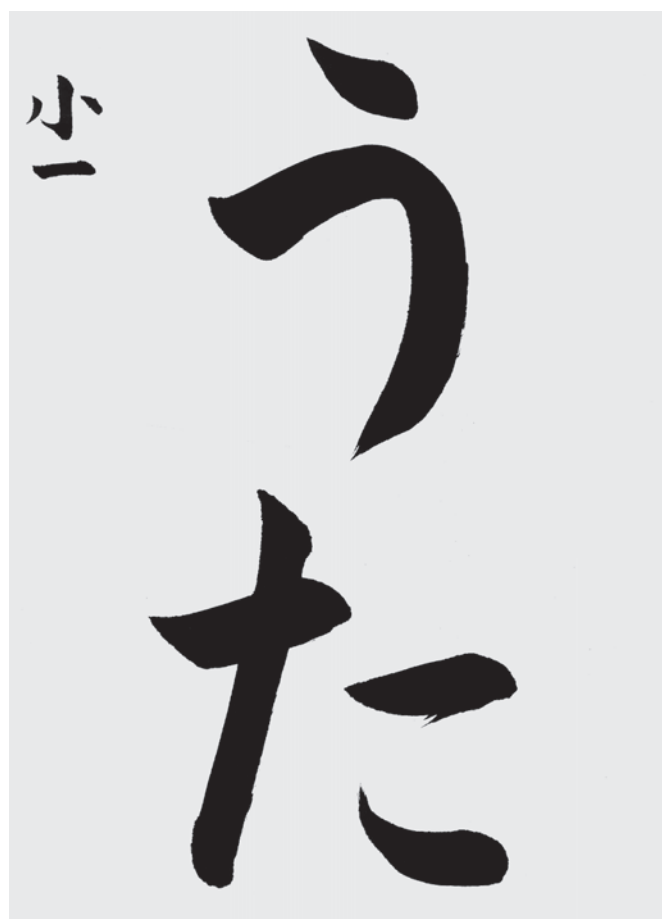
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年

玉たま
樹き
小しょう
華か
書



本文庫

小五

る食ベ

小三

中心

文庫本

食区切

リ区切

小四

小三、小五年
水野の香竹書

中二・三
交代手

小六・中二・三年
奥村暢之書

小六
満空の月

※行書はリズムよく筆を運ぶ事が大切です。

各投交
満空国

まるみ

中一
全国各地